



L-FABPテスト POC 急性腎障害発症予測の迅速キット

15分

保険点数
210点
判断料
34点

本品は、既に承認を取得した「レナプロL-FABPテスト」の臨床試験から算出された参考基準範囲では陰性を呈するよう設計されており、ベッドサイドで簡便に尿中L-FABPの測定が行えるところに特徴があります。尿検体添加後15分時点のテストラインの色調をスコア化することにより急性腎障害の迅速診断や重症度の予測が可能です。

ICUにおけるAKIの重症化リスク判断に(各種バイオマーカーと比較したL-FABP有用性)

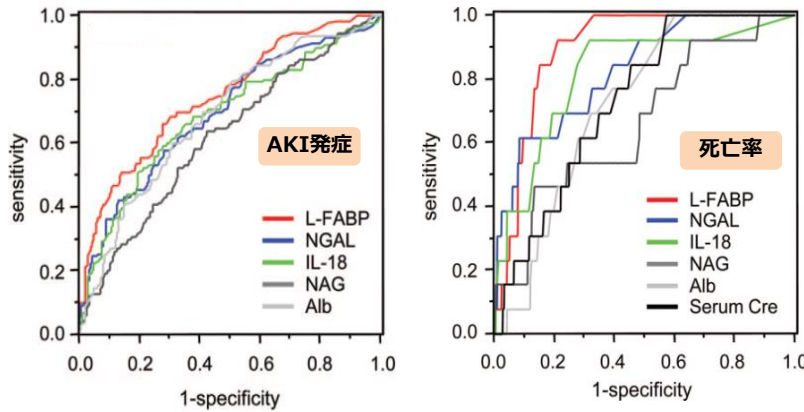
AKI合併はIUC患者死亡率を顕著に上昇させるため、AKI早期診断が重要とされています

ICU入室患者の各種AKI診断マーカー比較と予後の関係 *1

対象 :IUC入室患者 339名 【AKI患者: 131名(38.6%) 非AKI患者: 208名(61.4%)】
(末期腎疾患及び腎移植患者は除く)

実施施設 : 東京大学医学部附属病院 ICU

L-FABPが最もAKI診断精度が高く、入室2週間の重症化リスク(339症例中死亡率4.1%)を高精度に予測可能

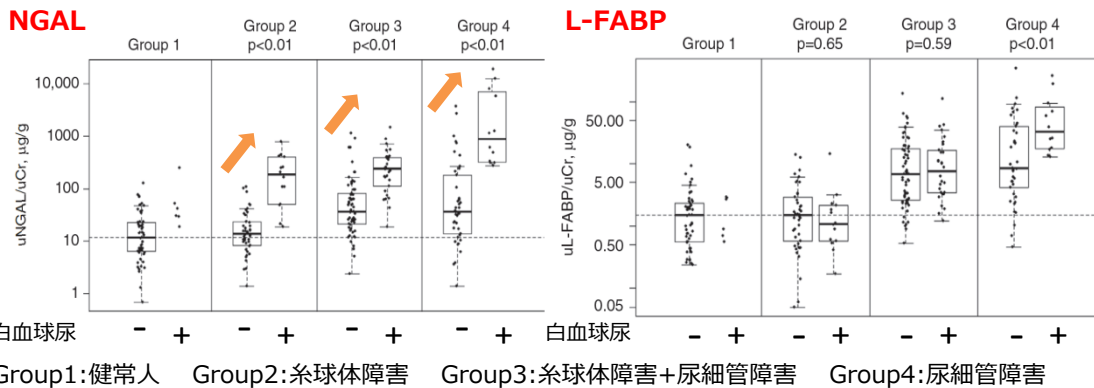


	AUC	95% CI
尿L-FABP	0.896	0.835-0.937
尿NGAL(保険未収載)	0.827	0.688-0.912
尿IL-18(未承認品)	0.826	0.679-0.914
尿NAG	0.664	0.495-0.800
尿アルブミン	0.717	0.606-0.806
血清クレアチニン	0.733	0.614-0.826

L-FABPとNGALの腎疾患特異性 比較*2

対象 : 病院内定期検査 尿検体 263名分

実施施設 : ミュンヘン市立病院



L-FABPは白血球尿の影響を受けにくく、尿細管障害特異性が高い

尿路感染症の患者から採取した尿検体は高濃度のNGALを示す可能性がある
【NGAL体外診断用医薬品添付文書より】

「尿中L-FABPの測定」は保険収載された検査項目です

尿中L-FABPとは

L-FABPは、腎臓において近位尿細管に特異的に発現する分子量約14kDaの低分子可用性タンパク質で、生理的には腎臓の再吸収機能を担う尿細管においてエネルギー及び脂質代謝に重要な働きをしていると考えられています。従来の腎機能マーカーは、糸球体や尿細管の組織障害により尿中に排泄されましたが、L-FABPは組織障害が進行する前の尿細管の虚血(血流不全)や、尿細管への酸化ストレスにより尿中に排泄されます。そのため、尿細管機能障害を伴う腎疾患の早期検出に有用であると考えられています。また、腎障害の程度に応じて尿中L-FABP値が上昇することから腎疾患の予後予測にもご利用いただけます。

参考文献:

*1 Evaluation of new acute kidney injury biomarkers in a mixed intensive care unit. Doi et al.; 2011, Nov;39(11):2464-9; Critical care medicine

*2 NGAL, L-FABP, and KIM-1 in comparison to established markers of renal dysfunction. Holzschreiber et al.; 2014 Apr;52(4):537-46; Clinical chemistry and laboratory medicine.

詳細はこちら(シミックホールディングス株式会社L-FABP特設サイト) <https://www.fabp.jp/>

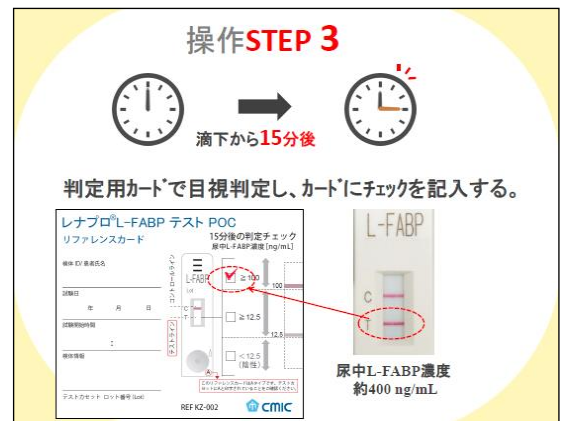


保険算定上の主な対象と有用性

＜中医協 総会（第194回）議事次第 臨床検査の保険適用について＞より引用

【測定内容】	尿中L-FABPの測定（尿細管機能障害を伴う腎疾患の診断の補助）
【主な対象】	急性腎障害が確立されていない、薬剤性腎障害、敗血症または多臓器不全等の患者
【有用性】	急性腎障害が確立されていない、敗血症または多臓器不全等の患者に対し、治療転帰を含めた重症化リスクを判別することで、血液浄化療法などの適応判断に利用可能性がある。
【留意事項】	原則として3ヶ月に1回限りの算定であるが、医学的な必要からそれ以上算定する場合「（造影剤投与前後の）尿細管障害を連続してモニタリングする必要があるため」「急性腎障害の重症化リスクの判定」など詳細な理由を診療報酬明細書の摘要欄へご記入下さい。

使用方法



販売名	レナプロール-FABP テストPOC	有効期間	製造日から12箇月間 (外箱に表示の使用期限内にご使用ください。)
貯蔵方法	1～30℃に保存	包装単位	10回用 1箱

シミツクホールディングス株式会社

L-FABP事業部
〒105-0023 東京都港区芝浦1-1-1 浜松町ビルディング21階
TEL : 03-6779-8017 FAX : 03-3830-5455
URL : <http://www.fabp.jp/>
E-mail : l-fabp@cmic.co.jp

関連文献、多数有り

詳しくはコチラで検索

fabp web
<http://www.fabp.jp>

検索

